

平成29年度 中部バリアフリー連絡会議

- 日時： 平成30年2月26日（月） 13：30～15：30
- 場所： 名古屋合同庁舎第1号館11階 共用大会議室

※所用により欠席された方

- 委員： 磯部 友彦（中部大学 工学部都市建設工学科 教授） <委員長>
- 臼井 隆雄（岐阜県相談支援事業者連絡協議会 顧問）
- ※板井 正斉（皇學館大学 現代日本社会学部 准教授）
- ※山田 昭義（社会福祉法人 A J U自立の家 顧問）
- 赤井 久夫（社会福祉法人 名古屋手をつなぐ育成会 常務理事）
- 岩間 康治（社会福祉法人 名古屋ライトハウス 視覚障害者支援室長）
- 中野 真哉（公益財団法人 愛知県老人クラブ連合会 主査）
- 中井 恵美（特定非営利活動法人 子育て支援のNPOまめっこ 事務局長）
- 小倉 健太郎（公益社団法人 静岡県聴覚障害者協会 事務局長）
- ※小川 剛矢（一般財団法人 岐阜県身体障害者福祉協会 課長）
- 野口 あゆみ（特定非営利活動法人 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター 事務局長）
- 山田 幸代（福井市ボランティア連絡協議会 事務局長）

【事業者・関係協会】 東海旅客鉄道(株)／ 中部鉄道協会／ 中部バス協会／
中部タクシー協会連合会／ 東海北陸旅客船協会

【行政機関】 愛知県／ ※静岡県／ 岐阜県／ 三重県／ 福井県／ 名古屋市／ 静岡市／ 浜松市

【事務局】 中部運輸局／ 中部地方整備局

- 議事：（1）【報告】国土交通省のバリアフリー施策の取組みについて
- （2）【報告】自治体におけるバリアフリー推進の取組みについて
- （3）【意見交換】①情報バリアフリーについて
- ②心のバリアフリーについて

意見交換の概要は次のページに掲載しています。



日時：平成30年2月26日（月）13：30～15：30

場所：名古屋合同庁舎第1号館11階 共用大会議室

●バリアフリー基本構想について

・名古屋市では、4つ基本構想を作成しておりますが、5千人以上の駅はたくさんあり悩ましい。基本構想を作り直すとしても、名古屋駅のリニア関連の整備やその他の地域でも、新たなまちづくりの構想があり、それぞれが長いスパンの整備計画となっているため、そのなかにどのようにしてバリアフリー基本構想を紛れ込ませればよいか、非常に悩ましい。

【名古屋市 健康福祉局障害福祉部】

・静岡市では、基本構想策定の対象となる5駅とも作成しています。もう少し小さい駅、もう一度見直して細かいところからスパイラルアップや推進ができればと思います。【静岡市 保健福祉長寿局健康福祉部福祉総務課】

●観光バリアフリーについて

・岐阜県では、バリアフリー観光に取り組んでおり、WEBにて様々な情報を発信しています。当県の観光に関する問い合わせ窓口は、バーチャルメディア広報岐阜に委託しています。【岐阜県 健康福祉部地域福祉課】

・観光バリアフリーで大事なものは、地域に旅行者として来て観光して消費してもらう。それには、相談窓口が必要です。地域のバリアフリー状況あるいはバリア情報をしっかりと発信する。それを踏まえて相談できる体制が、三重県にあります。岐阜県は、どのように相談できる機能を持たせるのか悩んでいる状況です。【中部運輸局 観光部観光企画課】

●カラーユニバーサルデザインについて

・印刷物をつくるときには色は見落としがちです。カラーUDチェックを実施して、わかりやすい情報を提供する取組みをしています。今後は、より多くの情報をわかりやすくポイントを示したガイドブックを配布して、UD計画を進めています。【浜松市 障害保険福祉課】

●バリアフリーマップについて

・静岡市では、安心して市内を外出してもらうため公開しております。公共施設は、すぐに情報公開できます。民間施設は、情報公開するとすべてバリアフリー化されていると思われて、それがかえってクレームとなってしまうことがあり、掲載を遠慮される事業者もかなりあります。【静岡市 保健福祉長寿局健康福祉部福祉総務課】

●バリアフリー街歩きチェックについて

・車いすによる街歩きで、水路や側溝の不備等を指摘したり、電柱や標識が白線のなかに設置されており移動してほしいが、簡単にできる話ではないため、白線の引き直しを提案

しました。障害物のところだけ白線を膨らますことで、車両の減速効果を期待した意図。危険個所の一部を改善していただいた。【岐阜県相談支援事業者連絡協議会 臼井委員】

●情報のバリアフリーと心のバリアフリーについて

・聴覚障害者は、災害や緊急のときに放送が音声で入ると聞こえない。最近は、ホワイトボードで情報提供いただくことが増えましたが、情報に遅れがあることをわかってほしい。

【公益社団法人 静岡県聴覚障害者協会】

・情報のバリアフリーは、内容が多記にわたります。情報がとりにくい方とれない方には、どういう情報をどういう方法で伝えたらよいか重要です。【磯部委員長】

・私たちは、障害者の方に安心をもってもらうように取り組んでいます。例えば、旅館に誰が泊まっているのかを知ってもらうことは、安心につながると思います。お部屋のバスタオルが車いすの方でも手が届くように低いところに置いてあるなど配慮があれば、災害が起こっても助けに来てくれる期待がもてるし、安心感につながる。【特定非営利活動法人 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター】

・避難訓練をしたとき、園児を誘導するのが高校生の役割で行いました。津波を想定して避難訓練をしました。高校生が園児に大丈夫だよと声をかけて一緒に逃げてくれるのは、園児にとってどれだけ心が安心できたか、ぜひ何かあったときには同じようにしてほしいといわれました。情報発信だけでなく、心も伴ったバリアフリーが必要になると思いました。【特定非営利活動法人 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター】

・知的障害者の方は、情報をどのように知るのかが重要です。アンケートには、単にルビを振るだけでなく、わかりやすい言葉や絵文字を使えば、もっと理解できます。名古屋市と協力して、障害者にもわかりやすいガイドブックを作っています。【社会福祉法人 名古屋手をつなぐ育成会】

・私たちは、名古屋市地域子育て支援拠点という未就園児の親子の遊び場を運営しています。2拠点目をイオン上飯田店に作ったところ、今まで遊びに来なかった人たちが来てくださるようになりました。外国人の親子、お孫さんを連れてくるおじいちゃんおばあちゃん、障がいがある方などが、買い物してたまたま遊びに来られます。お母さんたちは、どこの病院がいいとかこの幼稚園はここが面倒見がいいなど情報交換されているが、例えば障害者の方は、どこにそのような場所があるのか気になります。子供が小さい頃からいろんな人と交流することで、今後もバリアフリーが進むのではないかと思うと、遊び場も障害を持った方が気軽に来もらえる環境をつくっていかれたらと思います。【特定非営利活動法人 子育て支援のNPO まめっこ】

・心のバリアフリーを本当に身につけて頂きたいのは、興味のない人です。そのためには、障害者の方に外へ出て頂く。いろんな人達がいる社会で、自分たちがいることを知ってもらうには、出会うことが大切です。私たちは、情報発信することで安心して出てもらう活

動をする。当事者は、不安であったが外に出たら楽しかったことを、もっと情報発信していただきたい。【特定非営利活動法人 伊勢志摩バリアフリースターセンター】

・車の運転免許を取得しようとしたとき、かもしれない運転をしなさいと言われました。大丈夫だろうではなく、あそこの道から子供が出てくるかもしれない気持ちで運転しなさいと言われました。心のバリアフリーも近いです。私たちは、いろんな障害の方がいるという知識があれば、鉄道施設のホーム転落事故について、あの人はホームから落ちるかもしれないという気持ちがあれば行動に出ると思います。かもしれないという気持ちで、社会をみていかなければならない。【特定非営利活動法人 伊勢志摩バリアフリースターセンター】

・点字ブロックの色がまちまちです。これは福井だけなのか、私たちの団体では黄色に統一を進めています。【福井市ボランティア連絡協議会】

・点字ブロックは、いろんな工夫があります。黄色の点字ブロックの横に黒い帯を入れると白い床でもわかりやすいという事例もあります。もう少し周りの色とのバランスを考えていかないとうまくいかない。【磯部委員長】

●バリアフリー推進について

・顔と顔をあわせた場を作る必要があります。小さな場でも社会に広がっていく。【磯部委員長】

・国土交通省のバリアフリー施策の基本方針では、心のバリアフリーを推進するとあり、心のバリアフリー教室に取り組んでいます。しかし、基本構想策定支援セミナーのアンケート結果では、取り組んでいただいている自治体が約30%、残りの自治体は言葉は知っているが、予算がない・ノウハウがない等の理由により未実施との結果でした。運輸局としてはそのような自治体に各種情報を届け、運輸局が関与することで自治体の取り組みを促進したい。今後は、運輸局が情報提供の要とした役割をはたしたいと思います。【中部運輸局 交通政策部消費者行政・情報課】

●その他要望事項

・駅、公園等の車両進入止めについて、車イスは通行できるが電動車イスが通行できないものを見かけることがあるので改善が必要。特に無人駅の車止めで問題が生じる恐れがある。

・鉄道利用時の在来線から新幹線などの乗り換え間隔30分、乗降駅都合の電車見送りを改善してほしい。

・今後、オリパラなどで障害者の新幹線利用も増加すると考えられるので、現行1時間かかる車イス対応座席乗車券の発券を迅速化するシステムを開発してほしい。

- 新幹線の多目ルーム使用時に車内サービス(弁当等の販売)が受けられない場合が多い。入り口への表示板等の設置により利用意思の表示ができないか？
- 新車両の設計にあたっては、フリースペースをベビーカー・スーツケース等の荷物置き場だけでなく、電動車イスの固定場所を兼ねるものにしてもらいたい。